

羅針盤

社会科部 情報活用委員会

授業研究最前線

福岡中学校 校長 山内 貴弘

「この地域にコミュニティバスは必要だろうか」と討論する中学3年生の生徒たち。市が補助金を出し、公共サービスとして運営しているコミュニティバスは、利用する高齢者や学生にとってはライフラインともいえる重要性を担っているものの、利用者が減少している地域では、膨らむ赤字が市の財政に影を落としている現実もある。「存続か廃線か」生徒は行政、利用者の方などへの聞き取り調査やアンケート結果を根拠に話し合い、その持続可能性を探究する。市民ファーストである公共サービスの限界を感じ取りつつ、地域への想いに心は揺さぶられながら、地方自治の根幹に迫っていく生徒たち。

今回の新学習指導要領では、知識を習得するだけでなく、「学んだことをどう生かすか」が重要視されている。そのために重要な働きをするものとして「社会的な見方・考え方」の働かせ方がポイントであるとされている。中学校社会科公民分野においては「社会的事象を、政治・法・経済等に関わる多様な視点に着目して捉え、よりよい社会の構築に向けて課題解決のための選択判断に資する概念や理論」と明示された。そのために教師は見方・考え方を働かせる課題解決的な授業実践を積み重ねることが求められている。多様化する知、思考の見える化、学びがどんどん複雑化している印象を受ける。ただ、それはあくまで「生徒が知識や思考を総動員し、本気になって学ぶこと」が条件である。コミュニティバスの授業で話し合いを終えた生徒たちは「次は税金について考えていきたい」「市の人に聞いてみたい」と次時に思いを繋げる。

よい教材がよい追究を生み、本気の学びが深い学びを生む。その学びの過程は至ってシンプルなのである。

「授業力・教師力アップセミナー基礎編」報告

8月2日（木）男川浄水場にて、セミナーが開催されました。猛暑の中ではありますが、大変多くの先生方に参加していただくことができました。

前半は、昨年の12月から供用開始となった新たな施設を見学し、職員の方より詳しく解説していただきました。その後、指導員の山崎先生・森田先生による、男川浄水場を教材化した模擬授業が行われました。課題設定の仕方や子供の意見の焦点化など、具体的なアドバイスをいただき、今後の授業作りの参考となりました。今年度も大変有意義な研修の場となりました。

当日の施設見学の様子



「社会科研究作品展・発表会」報告

学年	テーマ	氏名	学校名
小3	あばけ！渡町の七ふしぎ	熊谷 風雲	矢作南小
小3	みんなが外出しやすい世の中へ	高橋みなみ	井田小
小4	防災とげん災について	宮山 彩葉	大門小
小5	せまりくる南海トラフ大地震PartⅢ -命にかかわるトイレ問題-	手島奏太郎	三島小
中2	浄瑠璃姫の史跡と江戸時代の旅	川本 夏輝	竜海中

5つの優秀作品が発表されました。どの発表も分かりやすく興味深いもので、参観者をうならせる説得力のある研究でした。

発表会の様子



発見!一押し地域教材!

(三島小 倉田 舞先生)

「ミクスネットワーク」(大門小学区)

★授業への活かし方★

○小学校5年生

単元「情報産業とわたしたちの暮らし」にオススメ!

○学習課題「ミクスって民放テレビと何がちがうのだろう」

★この教材のポイント★

①視聴者の実態に合わせたより身近なメディアである!

地域コミュニティ向けの番組制作を行っており、地域密着の情報提供を行っています。きめ細やかな防災情報や災害情報の発信がなされることに魅力があります。大手テレビ局と**比較する**ことで、視聴者の実態に合わせた、より身近なメディアであることが浮き彫りになります。また、「地域をつなぐ情報ネットワーク」や「防災と情報」を学ぶ教材としても、価値ある地域教材です。

②ケーブルテレビの特性を学ぶ!

ケーブルテレビは「テレビ」「電話」「通信(インターネット)」の3つのサービスを提供しています。人々の生活の中に必要不可欠な3つの情報メディアをつないでいるところも面白いです。



① 最大受け入れ可能人数

100人程度
(1クラスくらい的人数であれば、カメラを触る体験もできます)

② 見学内容

- ・講話「番組制作について」
- ・スタジオ・編集室の見学

③ ミクスからのメッセージ

「地域のテレビ局」として市民に情報を届けています。

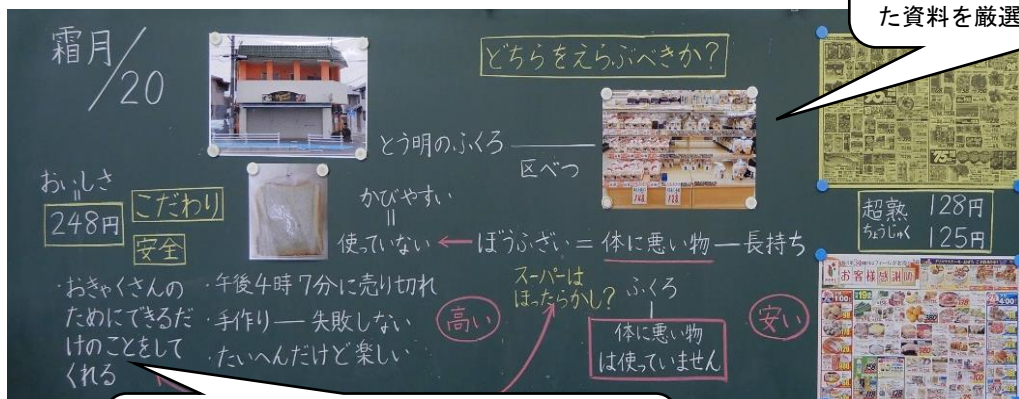
社会科では有効な
手立てです(指導員)

必見!授業技!

(六名小 恒川 徹先生)

ポイント②

写真・図表等を貼付し、見学を想起させる。学習内容が凝縮された資料を厳選する。



スーパーの食パンにぼうふざいは入っているのか?
本当にどう明のふくろでいいのか?

ポイント③

話し合いによって新たに
見出された問題、残された疑問等を強調して書く。

ポイント①

発言をなるべく短い言葉で書き、キーワードは色を変えたり、線で囲んだりする。

スーパーの食パンと個人店の食パンを比べて考えることができる板書です(指導員)

本時までの流れ

見学活動を通して、スーパーの品揃えの豊富さ、安さなどの利点について学んだ上で、学区で人気の個人商店と対比する授業を展開しました。大手メーカーの食パンが多様な情報を掲載した包装袋であるのに対し、個人店の食パンは、無地の透明の袋であることを教材化しました。

自主研修セーリング報告

「子供が生き生きと学ぶ授業づくり」

第3回 ~教育論文の書き方~

第4回 ~社会科研究作品発表会~

内容: 仮説や手立ての書き方を中心に、教育論文執筆のポイントを解説しました。研究発表会では、子供たちの研究の成果を見ることができました。



次回のセーリングは、1月11日(金)です。テーマは「学年別模擬授業に参加しよう(終末編)」です。山崎指導員の模擬授業も開催されます。ぜひ、ご参加ください。

三教研・県教研代表者

◆三教研研修会提案者

大門小 實松 勇太先生
葵中 小久江友見先生

◆第68次教育研究愛知県集會

【小学校】

大門小 實松 勇太先生
梅園小 新井 健祐先生

【中学校】

葵中 小久江友見先生
竜海中 成田 道俊先生